

日本現代中国学会第 65 回全国学術大会のご案内

会員各位

戦後 70 周年を迎える今年、安保法制をめぐる日本の政治が大きな転換点を迎えるかどうかの瀬戸際にありますが、それだけでなく日本の首相談話の発表、中国の抗日戦争勝利記念式典など日中関係に大きく関わる重要な行事が多く控えています。昨今、一時期に比べれば、日中両国間の緊張関係が少し和らいだかに見えますが、しかし相互不信がなくなったわけではなく、また互いへの理解が深まったわけでもありません。過日お知らせしたように、今年度の大会共通論題を「日本の中国研究を問う」と設定したのも、こうした現状を意識してのことです。

今大会の共通論題では、政治、経済、社会、文学、歴史、対外関係など各分野の第一人者を迎え、日本における中国研究のあり方、日中相互理解の促進に果たすべき我々の役割などについて学術的に議論します。初日の午後をすべて共通論題に充てますので、ぜひ積極的に参加し発言して頂けますようよろしくお願い申し上げます。その他にも、魅力的な分科会が多く用意されております。あわせて秋の京都の美も味わっていただければ幸いです。皆さまのご参集をお待ちしております。

—記—

日時:2015 年 10 月 24 日(土)12 時より受付開始、25 日(日)9 時より受付開始

会場:同志社大学 今出川キャンパス 志高館

〒602-0898 京都市上京区烏丸通上立売上ル

キャンパス・マップ:http://global-studies.doshisha.ac.jp/access_map/access_map.html

交通アクセス:<http://www.doshisha.ac.jp/information/campus/access/imadegawa.html>

(京都駅で地下鉄烏丸線・国際会館行に乗車し、今出川駅 1 番出口から徒歩数分)

参加費:1000 円(資料代)

懇親会費:一般 5000 円、学生 4000 円

★同封の出欠確認はがきに必要事項をご記入のうえ、10 月 1 日(木)までにご投函ください。

★参加費、懇親会費、お弁当代、学会年会費は、同封の振込用紙に必要事項をご記入のうえ、10 月 1 日(木)までにお振込みください。

同志社大学大会実行委員会:阿部範之、内田尚孝、加藤千洋、巖善平、竹内理樺、横井和彦

お問い合わせ先:〒602-0898 京都市上京区烏丸通上立売上ル

同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科 巖研究室気付

Eメール:genchu2015@gmail.com

以上

大会プログラム

10月24日(土)			
10:30～	理事会 (志高館 1階 会議室)		
12:00～	受付 (志高館 1階 ロビー)		
13:00～17:00	共通論題:日本の中国研究を問う (SK112)		
17:00～18:00	総会 (SK112)		
18:15～20:00	懇親会 (寒梅館 7階)		
10月25日(日)			
9:00～	受付 (志高館 1階 ロビー)		
企画分科会・自由論題			
志高館 1階	SK105	SK106	SK107
10:00～12:00	A. 現代中国	B. 教育	C. 文学 I
13:00～15:00	D. 歴史・法学	E. 経済	F. 文学 II
15:15～17:15	G. 政治・経済	H. 社会	I. 文学・文化

■10月24日(土) 理事会／共通論題／総会／懇親会

10:30～ 理事会 志高館 1階 会議室

12:00～ 受付 志高館 1階 ロビー

13:00～17:00 共通論題 日本の中国研究を問う SK112

座長:加藤千洋(同志社大学)

報告 1:毛里和子(早稲田大学)

私の現代中国研究——挑戦と『神話』

報告 2:矢野剛(京都大学)

日本の中国経済研究は世界の中国経済研究に貢献できるか？

報告 3:陳立行(関西学院大学)

日本における中国に関する社会学研究の現状と課題

報告 4:宇野木洋(立命館大学)

対象・方法の拡散的多様化に直面する中国現代文学研究領域

——戦後の研究営為を踏まえつつ現在の課題を探る

討論 1:久保亨(信州大学)

日本の近現代史教育と中国認識

討論 2:朱建榮(東洋学園大学)

私の見たこの30年の日本の現代中国研究

17:00~18:00 総会 SK112

18:15~20:00 懇親会 寒梅館7階

■10月25日(日) 企画分科会・自由論題

9:00~ 受付 志高館1階 ロビー

10:00~12:00 企画分科会・自由論題

A. 現代中国(企画) SK105

座長:川島真(東京大学)

テーマ:習近平体制下の中国政治・社会・対外関係

報告1:政治 加茂具樹(慶應義塾大学)

報告2:社会 阿古智子(東京大学)

報告3:対外関係 青山瑠妙(早稲田大学)

B. 教育(自由) SK106

座長:武小燕(名古屋経営短期大学)

報告1:石田卓生(愛知大学)

日清貿易研究所の教育について——高橋正二手記を手がかりに

報告2:真殿仁美(城西大学)

中国が目指す特殊教育とは

報告3:李昱(関西学院大学)

中華人民共和国初期における留学生派遣——国策と個人

C. 文学I(企画) SK107

座長:白水紀子(横浜国立大学)

テーマ:台湾文学・映画における日本表象と日本文学における台湾表象の相互性

報告1:小笠原淳(熊本学園大学)

戦中戦後の日本語文学に見る台湾「蕃地」と先住民女性

——真杉静枝、坂口禰子、津島佑子の描いた「蕃地」のロマンスと現実

報告 2 : 赤松美和子 (大妻女子大学)
戦後台湾映画における日本時代表象

報告 3 : 劉靈均 (神戸大学院生)
朱天文・朱天心の日本表象と同性愛—1990年代の作品を中心に

討論者 : 垂水千恵、張文菁、三須祐介

13 : 00~15 : 00 企画分科会・自由論題

D. 歴史(自由) SK105

座長 : 高見澤磨 (東京大学)

報告 1 : 尹国花(一橋大学・院生)
国共内戦期延辺における中国共産党指導層の変遷

報告 2 : 松本和久(早稲田大学・院生)
初期満ソ国境紛争の発生と展開——国境委員会設置交渉から武力処理思想へ

報告 3 : 刁成林(立命館大学・院生)
張公権の国貨提唱と中華国貨産銷合作協会

E. 経済(自由) SK106

座長 : 横井和彦(同志社大学)

報告 1 : 劉鵬(福岡大学・院生)
中国における省別の社会関係資本に関する考察

報告 2 : 盛福剛(東北大学・院生)
中国語訳『資本論』の成立過程——郭・王訳の考察と翻訳術語の変遷

報告 3 : 岡田実(拓殖大学)
中国・国営工場の「潜在力発掘、革新、改造」と日中協力の形成・発展過程

F. 文学Ⅱ(企画) SK107

座長 : 今泉秀人(大阪大学)

テーマ : 沈従文研究の現在

報告 1 : 福家道信 (近畿大学)
『湘行書簡』の旅再考

報告 2 : 齊藤大紀 (富山大学)
湘西と北京——1990年代以降の沈従文研究から

報告 3 : 津守陽 (神戸市外国語大学)
沈従文、辺境を書くことのディレンマ

15 : 00~15 : 15 休憩 SK108

15 : 15～17 : 15 自由論題

G. 政治・法学(自由) SK105

座長：梶谷懐(神戸大学)

報告 1：大西広(慶應義塾大学)

「香港人アイデンティティ」と財界天国について
——香港「雨傘運動」のアンケート調査から

報告 2：王偉彬(広島修道大学)

尖閣(釣魚島)問題における中国の「作為」と「不作為」

H. 社会(自由) SK106

座長：高屋和子(立命館大学)

報告 1：劉文静(岩手県立大学)

農地の社会保障的機能の変容と農家年金制度の整備
——中国湖北省の事例を手掛かりに

報告 2：聶海松(東京農工大学)

中国都市部と農村部における高齢者の生活実態と社会保障状況
——2014年7省の実証調査をもとに

報告 3：大濱慶子(神戸学院大学)

中国の女性学・ジェンダー研究の発展と草の根の取り組み
——女性知識人が開く公共空間

I. 文学・文化(自由) SK107

座長：中村みどり(神奈川大学)

報告 1：林麗婷(同志社大学・院生)

余計者としての「留学生」
——張資平『一班冗員的生活』を中心に

報告 2：池田智恵(関西大学)

淪陥期上海における雑誌とその読者

報告 3：王静(大阪観光大学)

現代中国における茶文化の民族化

■書籍販売

両日とも、中国関係書店による書籍の出張販売を予定しています。是非ご利用ください。

場所：志高館 1F SK109

■大会実行委員会からの注意事項

1. 同封の出欠確認はがきに必要な事項をご記入のうえ、10月1日(木)までにご投函ください。
2. 大会参加費(資料代1000円)、懇親会費(一般5000円、学生4000円)、お弁当代(1000円)、学会年会費は、同封の振り込み用紙にて、10月1日(木)までにお支払いください。
3. キャンパスへの車両入構は制限されています。公共交通機関をご利用ください。
4. 25日(日)は学内の食堂、売店は営業しておりません(ただし、寒梅館1階のレストランは利用可)。事前にお申込みいただいた方に限り、お弁当(税込1000円)を用意いたします。キャンパス周辺のコンビニでも弁当などの購入が可能です。
5. 宿泊施設につきましてはご自身で早めにご予約ください。
6. 同志社大学構内は、決められた喫煙所以外は禁煙となっております。
7. 今年度の理事会は、大会初日の10月24日(土)午前中に開催します。理事の方はぜひご参加下さい。出席者には弁当を用意いたします。
8. 台風などで開催校が休講するような事態が発生した場合、開催の有無を朝6時の段階で学会のウェブサイトに掲載いたします。



志高館です。

相国寺

京都御苑(御所)